

農業経営設計インテリジェントシステム

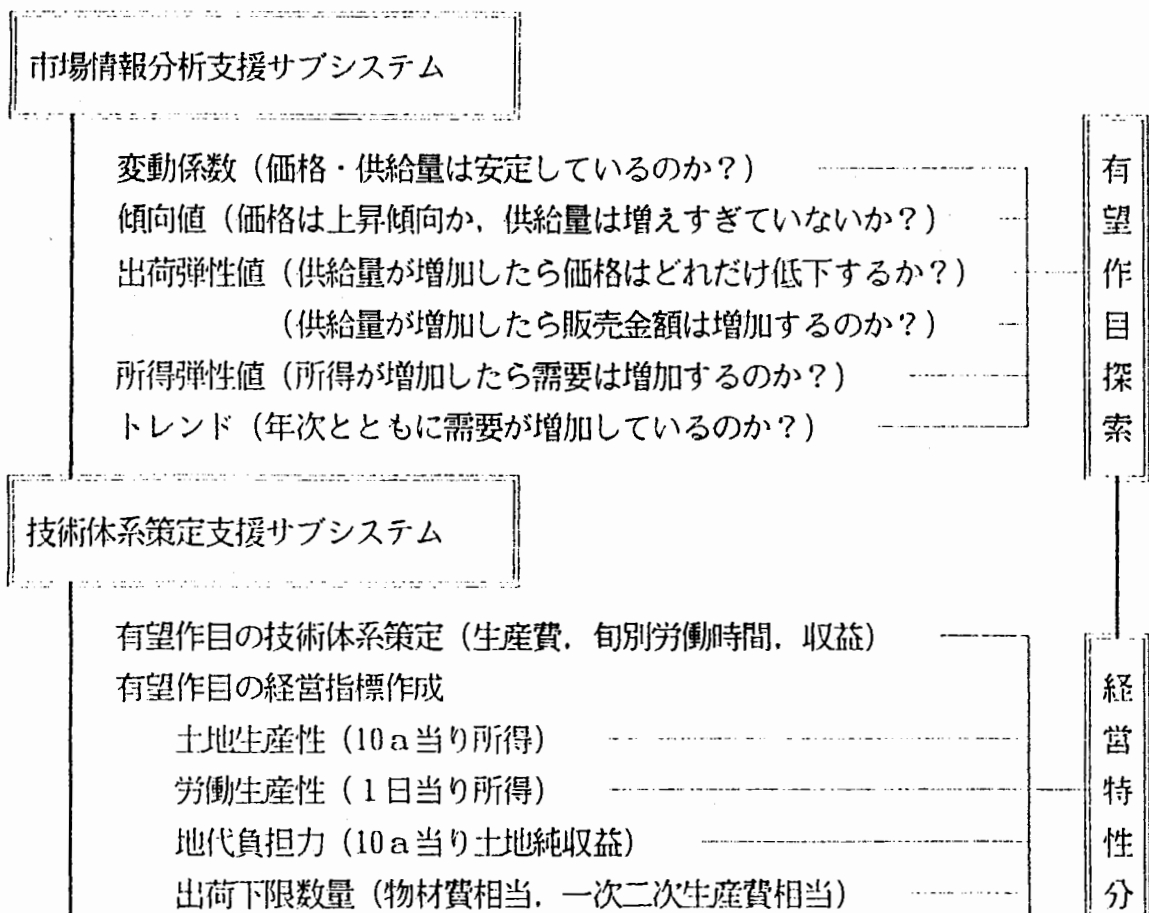
(農試 経営部)

1 背景とねらい

高度情報化社会の進展につれ、普及現場でのパソコンの整備が進んでいる。こうした状況に対応し、農試経営部では、「経営診断設計システム」「東京都中央卸売市場年報データベース」「統合型ソフトを利用した経営設計支援システム 経営くん」を開発したが、いずれも個別完結的なシステムとして開発されたため、各システムのデータ形態が異なり、システム間でデータを共有することが出来なかった。

この度、農業情報ネットワークシステム開発事業（国庫補助、主管は農政企画課）のなかで、転作作物導入支援システムを開発することとなったのを契機に、既に開発した上記3システムでデータの共有が出来るようシステムを改良した。また東北農試が開発した「作物選択のための経営的意思決定支援システム」にも共通データベースを利用できるようにしたほか、既存システムが有していた市場分析、技術体系策定、作物選択、経営設計の各機能が一貫して処理できる「農業経営設計インテリジェントシステム」を農試経営部が設計監修し開発したので指導上の参考に供する。

2 技術内容



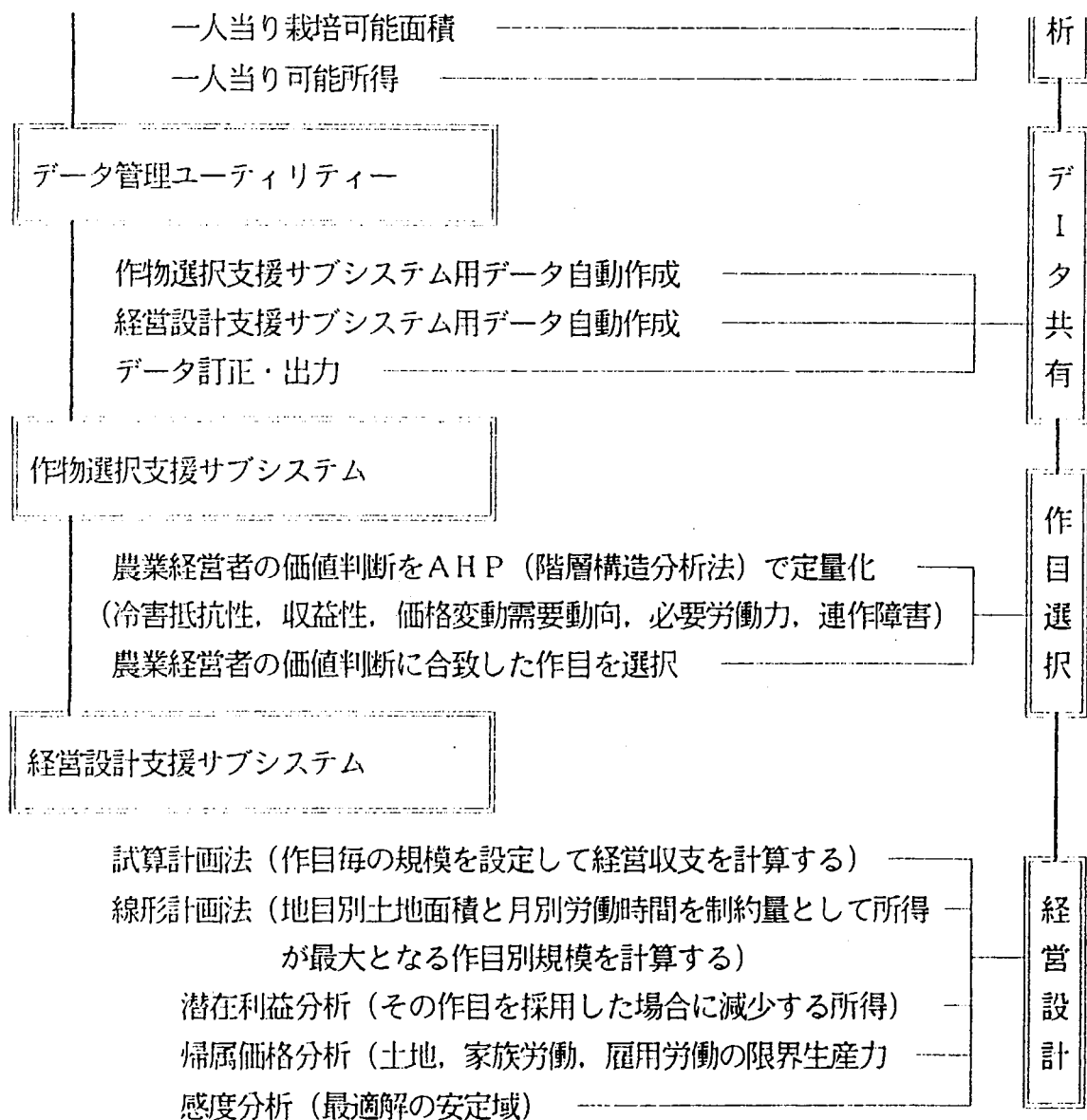


図1 農業経営設計インテリジェントシステムの活用方法

3 指導上の留意事項

- (1) 本システムを利用するためには、MS-DOSと統合型ソフト (Lotus1-2-3R2.1J) 及び市場情報分析支援サブシステムで利用するマイクロAGNESS (市販統計分析ソフト) を購入する必要がある。
- (2) 本システムを利用するためには、40MBのハードディスクが必要である。